

授業科目名	人権論		授業形態	講義		授業科目区分		一般科目 (社会・文化・自然科学)	
担当教員名	森 克己					補助担当者名			
単位数	1 単位		履修年次	1年次		受け入れ人数		200名程度	
授業の概要	人権の意義・内容・歴史などを解説するとともに、日本国憲法や国際人憲章典・条約等の人権規定の意義・内容等を解説することにより、受講生が人権問題の考え方や基礎知識を身につける。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標		成績評価の方法						
			授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	現代社会における主要な人権問題の考え方を身に付ける。		○			○		50
	■情意的領域	授業に積極的に参加し、レポートに積極的に取り組む。	○		○				50
□技能的領域									
成績評価の基準	学期末試験の成績、毎回の授業時に課されるレポートへの取組みを総合的に評価する。								
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：授業時に資料を配付する。 参考書：中川義朗編・『現代の人権と法を考える』（法律文化社）								
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッ セージ含む)						
オフィス・アワー	森：水曜日、木曜日の午後（５０８研究室）								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	森 克己	オリエンテーション：学習の目的、内容、方法、評価のしかた				履修要項の予習			
2	〃	人権の意義、内容、歴史①				参考書・資料等の予習・復習			
3	〃	人権の意義、内容、歴史②				参考書・資料等の予習・復習			
4	〃	現代社会における人権				参考書・資料等の予習・復習			
5	〃	子どもの人権（総論）				参考書・資料等の予習・復習			
6	〃	子どもの人権（各論）（児童虐待）①				参考書・資料等の予習・復習			
7	〃	子どもの人権（各論）（児童虐待）②				参考書・資料等の予習・復習			
8	〃	定期試験							